

令和6年5月23日

「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告書

春日井市立藤山台中学校

校長 西 崎 慎 也

事業テーマ	自分のもっている知識や技能を組み合わせたり、対話的な活動を通して考えを広げたり深めたりすることで、目的達成に近づくことができる生徒の育成	
取組の目的	令和4年度まで、J A E T全国大会の発表校として上記のテーマの実現を目指して、「生きた知識を育てる授業の実現」「I C Tの日常的な有効活用」「S S TとS G Eの実施」を具体的な手段の柱として研究実践を進めてきた。この2年間の実践により、子どもの学ぶ姿にも、指導に当たる教員の姿にも変化が見られるようになってきた。その子どもや教員の変化をよりすすめるために取組を行った。	
区 分 (○印を付ける)	○新規事業・継続事業（総事業年数 1年間、1年目）	
継続事業の場合、昨年度の課題を踏まえて対応した内容		
事業名	事業内容	実施時期
外部講師を招いての研修会	各具体的手段の理解と指導技術の向上のために、大学教授を招いて研修を行った。	毎学期（計4回）
校内現職教育	教員の指導技術の向上のために現職教育を行った。また、その資料作成のために書籍を購入した。	通年
I C Tの有効活用	タッチペンなどI C Tに関する物品を購入することにより、さらなる活用を図った。	通年
取組の成果	授業や委員会活動において、生徒が主体的に思考をはたらかせ取り組む姿が見られた。	
課題	今後は一小一中であることをいかし、交流を密にして取組を進めたい。	